

○大雨による浸水被害が頻発するなか、迅速な災害対応を行うため、周辺地域における浸水の状況を速やかに把握することが求められている。  
 ○国では、こうしたニーズに対応するため、小型、長寿命かつ低コストで、多数の設置が可能なワンコイン浸水センサの実証実験を進めている。  
 ○熊本市は、令和6年度からワンコイン浸水センサの実証実験に参加。これまで職員で浸水調査を実施してきたが、ワンコイン浸水センサを活用することで、浸水情報の効率的な把握に努めていく。

■取組内容の説明

- ・本市では、令和5年度に「熊本市下水道浸水対策計画2023」を策定。内水氾濫が多発する重点対策地区において、ハード整備とソフト対策が一体となった浸水対策事業を進めている。
- ・令和6年度の実証実験では、重点対策地区である「木部川第6排水区」、「木部川第9排水区」において、ワンコイン浸水センサを約30箇所設置し、浸水状況の把握を行う。



設置予定の浸水センサ  
 出展：国土交通省HP

・浸水センサは、水路沿いのガードレール等に設置。浸水を感じるとアプリ上で表示される仕組み。

■今後のスケジュール(案)

	令和6年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ワンコインセンサ 実証実験										実証実験		



下水道浸水対策事業の重点対策地区



職員の浸水調査状況